

平成24年度 事務事業マネジメントシート

事業名	各福祉相談窓口連携事業(福祉サービス事業者情報網整備事業と統合)		会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山(市民福祉の充実)	主管課	社会福祉課			
施策	4-7	誰もが安心して利用できる社会サービス体制づくり	主管課長	村越 友直			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	円滑な相談・指導業務の実施
事業内容	子ども、高齢者、障害者等の相談を所轄する関係機関と連携し、福祉サービスの向上を図ります。			
事業開始から現在までの状況変化	流山市要保護児童対策連絡協議会、流山市地域包括支援センター及び地域密着型サービス運営協議会、流山市地域自立支援協議会を設置し、ちば県民共生センター東葛飾センター、松戸健康福祉センター、柏児童相談所、流山警察署、流山市医師会、流山市歯科医師会、流山市薬剤師会等と会議を開催し、適切な相談指導業務の実施と情報の共有及び連携の強化を図っています。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成22年度	平成23年度	平成24年度	単位	目標方向	算定式(成果指標の場合)
		①	流山市要保護児童対策連絡協議会開催回数	1			
②	流山市地域包括支援センター及び地域密着型サービス	2	5	5	回	→→	
③	流山市地域自立支援協議会開催回数	1	1	2	回	→→	
④							
指標で表すことができない定性的な成果	子ども、高齢者、障害者等の相談を所轄する関係機関とは、必要な都度、個別に相談を行っている。			目的に対する現状(客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況) 流山市要保護児童対策連絡協議会、流山市地域包括支援センター及び地域密着型サービス運営協議会、流山市地域自立支援協議会を通じて、困難事例の対応等は、関連する窓口機関と適切な相談指導業務の実施と情報の共有及び連携の強化を図っています。			
事務事業のコスト		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)							
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)(建設又は取得年度のみ記入)							
想定耐用年数(年)(建設又は取得年度のみ記入)							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H24)の改善計画	相談指導業務については、各協議会との連絡を密に連携を図る。	③取り組みの課題	如何に適切な窓口サービスなどの相談業務を行うことができるかが課題となっている。
②今年度(H24)に実施した取り組み	困難な相談事案については、各協議会との連絡を密に連携を図った。	④今後の改善計画	今後とも、適切な相談指導業務の実施と各協議会との情報を共有し連携強化を図る。